

OS-21 「脳科学とAI」招待講演
Invited talk on OS-21 “Brain Science and AI”

脳機能計測の AI 研究への応用～fMRI 実験デザインを中心に～
Application of functional neuroimaging on AI studies: on fMRI experimental designs

杉浦 元亮^{*1}
Motoaki Sugiura

^{*1} 東北大学
Tohoku University

概要

脳機能計測、特に機能的 MRI を AI 研究に応用する際に重要な実験デザイン上の考え方を2点提案する。まず1点は適切な統制条件の重要性である。ここでは人間の認知過程の奥深さと解析・解釈の見通しを十分に配慮する必要がある。もう1点は“脳機能も計測してみる”という「追加」的な発想を避けることである。脳機能計測を上手に使う研究コンセプトは3つある。脳機能計測の応用研究は脳機能計測のプロとの協働が得策である。

講演者略歴

東北大学医学部卒、同大学院医学研究科博士課程修了、博士(医学)。ユーリヒ(ドイツ)研究センター医学研究所客員研究員、宮城教育大学助教授、生理学研究所准教授等を経て、平成20年より東北大学加齢医学研究所准教授。平成24年より同災害科学国際研究所にも兼務。人間の心の脳メカニズム解明を目指し、fMRI 等の脳機能イメージングを用いて、特に社会認知の脳機能マッピング研究を行っている。平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を「自己認識の脳メカニズムの研究」で受賞している。

連絡先: 杉浦元亮, 東北大学加齢医学研究所脳機能開発研究分野, 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1, TEL/FAX 022-717-7988, motoaki@idac.tohoku.ac.jp